

# しゃぼんだま

左手の和音のリズムが単調なため、曲に表情がつきにくいので、左手の音量を抑え気味に弾き、言葉が切れ切れにならないようになめらかにうたい、表情をつけましょう。片手(右手)→両手、あるいは両手→片手(右手)になるときに、テンポが遅くなったり、速くなったりするので注意しましょう。「しゃぼんだまーとーんーだ」とうたう人が多いです。言葉のまとまりを意識して(「しゃぼんだま／とんだ」とうたうようにしてください。作曲者が書いた元の楽譜では前奏、歌い出しともに「ラレレレ」となっています。

野口雨情 作詩  
中山晋平 作曲

ゆかいに ♩=112

初學者の人はすべて1の指で

スタッカート軽く

左手控え目に

はざさないように注意

音が低くならないように

間違いやすいので、取りだして練習

音が低くなりやすい

ここで音を切らない

休みをしっかりとる

左手の和音は重くなりすぎず、強すぎない

フレーズの最後の音を乱暴に弾かない

プレスをつぶりとる

(mf)音が低くなりやすい

迷ったり間違える人が多い

音の響きを高く保って「かぜかせ〜」につなげる

ここで音を切らない

遅くなったり、迷う人が多い。取りだして練習

休みをしっかりとる

特にテンポ注意。表情をつけて、速くならない

この休符は特に注意

レファ#

1 5 / 1 2 4

1. しゃぼんだま  
2. しゃぼんだま

とんだ きえ た やね ま で とんだ きえ た とん で  
と き え た と ば ず に と ね ま れ て す ぐ に

こ わ れ て き え た } か ぜ か ぜ ふ く な しゃ ぼ ん だ ま  
こ わ れ て き え た } て い ね い に

と ば そ